

## ご挨拶

日本神経学会 第129回近畿地方会を開催するにあたり、会員ならびにご参加の皆様にご挨拶申し上げます。伝統ある本学会の大会長を担当することは、私にとって大変光栄なことです。国立循環器病研究センター(旧国立循環器病センター)は、6つの国立高度専門医療研究センター(ナショナルセンター)の1つとして、1977年に吹田市に設置されました。当センターは脳卒中や循環器病を中心に、診療および研究を行っております。また、内科専攻医の基幹および連携施設として、神経内科専門医の育成を重要な責務の1つと考えております。この度、脳血管内科(旧内科脳血管部門)として、山口武典先生(第64回)、峰松一夫先生(第89回)、豊田一則先生(第114回)に続き、4回目の近畿地方会を開催させていただくことを、大変嬉しく思います。

さて、私と神経地方会の初めてのつながりは、1995年、研修医2年目に参加した第131回九州地方会での「原発性低髄液圧症候群と考えられる1症例」の発表でした。それまで文献検索やスライド作成の経験がほとんどなかった私は、諸先輩のご指導とご支援を受けて発表に至りました。この経験が、神経内科専門医を目指す上での大きな節目となり、後に日本語での症例報告論文としてまとめることができ、論文作成の重要性を学ぶ機会となりました。自身が経験した症例を深く考察し、情報発信していくことが、脳神経内科領域の発展に微力ながら貢献できるのだと感じたこの経験が、現在の私につながっているのだと考えています。令和5年まではCOVID-19の影響により対面形式での学会開催が困難でしたが、現在は多くの学会が対面形式の現地開催に戻ってきました。現地での発表、議論、意見交換、新たな出会いが、皆様の経験をより一層深め、脳神経内科領域のさらなる発展に繋がるものと確信しております。指導医による若手医師の指導や支援、また多くの脳神経内科医との活発な議論が、脳神経内科領域の若手人材獲得や育成に貢献していくことを期待しております。ぜひ皆様にご参加いただき、建設的な議論を通じて若手医師が緊張感や達成感を体験できる会とできれば、私としても非常にありがたく存じます。

今回、65件の演題応募があり、4つの若手奨励賞候補演題セッション(内科専攻医2つ、初期研修医2つ)、3つのランチオンセミナー、1つの教育セミナーを予定しています。若手奨励賞候補演題には、初期研修医枠に11件、内科専攻医枠に23件の応募がございました。若手奨励賞候補演題は、初期研修医および内科専攻医の育成のための重要な枠組みとなっていることを実感しております。初期研修医枠の全ての演題を採択いたしました。セッション構成を考慮し、内科専攻医枠の応募演題のうち、11件を一般演題、12件を内科専攻医枠として採択いたしました。教育セミナーには、東京科学大学(旧東京医科歯科大学)難治疾患研究所神経炎症修復学分野の七田崇教授に「脳修復は持続させられるか?」というテーマでご講演いただく予定です。

最後になりましたが、多忙な中、講演に応募いただいた皆様、快く座長、審査員をお引き受けいただいた皆様、そして地方会の運営にご協力いただきました企業、事務局スタッフ、関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

本大会が皆様にとって実り多き会となりますことを祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年(2024年)12月吉日

日本神経学会 第129回近畿地方会 会長  
古賀 政利  
(国立循環器病研究センター 脳血管内科)

# 参加者の皆さまへ

## I. 事前参加登録

**会期:** 2024年12月7日(土)

\*第129回近畿地方会については事前参加登録が必要となります。

**参加費:** 近畿地方会: 4,000円

教育セミナー: 1,000円

## II. 日本神経学会専門医単位

**地方会参加:** 3単位

**教育セミナー:** 1単位

## III. 発表者の方々へ

**発表データを保存したUSBメモリーをご持参ください。**

**発表の手順:**発表データは「第1会場(ライフホール)前・PC受付」に提出いただきます。発表の**30分前**までにPC受付にて出力チェックおよびデータをご提出・ご登録ください。

**発表形式:**Windows10(PowerPoint2010/2013/2016/2019)のPCを準備いたします。

Windowsに限り、USBメモリーによるデータ発表が可能です。

※PC受付で発表データの修正などを行うことはできません。

※スライドの横縦比は**16:9**のワイドサイズです。横縦比**4:3**の場合、左右が一部黒色で投影されますが発表可能です。

※Macintoshでのご発表をご希望の場合は、ご自身のPCをお持ちください。ACアダプターをご用意ください。会場で用意する映像出力端子は**HDMI**です。

※Mini DisplayPort、MiniHDMI(タイプA)、D-sub 15pinなど上記以外の接続はお受けできません。

※「発表者ツール」機能のご使用はできません。

**<口演発表>** 1演題当たり、発表**6分**、討論**2分**、合計**8分**です。

## IV. 世話人会

9時より第1会場(ライフホール)にて行います。

## 交通案内図

### 千里ライフサイエンスセンター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

TEL: 06-6873-2010

#### ■地下鉄〈大阪メトロ御堂筋線〉

御堂筋線 … 箕面萱野方面行に乗車。「千里中央」駅下車(北出口すぐ)  
新大阪駅より約 15 分 大阪梅田駅より約 20 分

#### ■伊丹空港からお越しの方

大阪モノレール… 門真市行「千里中央」駅下車(徒歩約 5 分)

#### ■関西空港からお越しの方

JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「箕面萱野」行に乗り換え「千里中央」駅下車  
南海電気鉄道「難波」駅で地下鉄御堂筋線「箕面萱野」行に乗り換え「千里中央」駅下車



# 会場配置図

## 千里ライフサイエンスセンター

5階

